

第6学年 外国語活動指導案

1 単元名 **I like my town.** 自分たちの町・地域 (**We can!**2 Unit4)

2 単元目標

- ・進んで、地域の有名な物や場所について伝え合おうとしている。
〔コミュニケーションへの関心・意欲・態度〕
- ・地域にどのような施設や観光地があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさを表す表現に慣れ親しむ。また、例を参考に、語順を意識しながらそれらの表現を書くことに慣れ親しむ。
〔外国語への慣れ親しみ〕
- ・英語と日本語とでは、地域の有名なものや場所などの表現が違うことに気付く。また、日本語と英語の語順の違いに気付く。
〔言語や文化に関する気付き〕

3 単元について

本単元は、千葉市に訪れた外国人に自分の住む地域（稲毛海岸近辺や美浜区、千葉市）のよさを紹介するという単元である。単に観光地や有名な場所を紹介するだけでなく、どこがよいかを説明することをねらいとしている。これまで、児童は **You can enjoy ~ing**（動作）、**I go to**(目的地)や **It's**（気持ち）を表す表現を学習してきた。本単元で **We have**（施設・建物）という新しい表現を知り、自分の町に何があり、それによって何ができ、どんな気持ちになるかということを発表する。特に語順を意識しながら、それらの表現を書くこと、話すことに慣れ親しませたい。

本学級の児童は外国語活動において、意欲的な子とそうでない子と二分する。英語による指示や説明が理解できれば、学習する意欲を見せるが、理解できない時は興味をもたず、活動に参加しない場合がある。これは他の教科でも見られる。そのため、昨年度から目的を達成することを第一に理解しやすい平易な指示を出すようにしてきた。称賛や励ましの言葉かけを多くしながら、児童が楽しみながら取り組めるように配慮し、英語でコミュニケーションを図る楽しさを体験させたい。

4 児童の実態

(1) 児童が、英語に対してどのような意識をもっているのかを探るためにアンケート調査を実施した。

①英語に興味がありますか。

(令和元年9月3日調査)

とてもある・・・ 2名 まあある・・・ 11名	あまりない・・・ 3名 全くない・・・ 6名
(理由) 外国語で話してみたい。 単語が好きだから。 塾で習っているから。 読めそうな単語があると、なんて読むのかなと思うから。 覚えるのが楽しい。 英語の話せる看護師になりたい。 将来役に立ちそう。 外国に旅行したとき、使って楽しかったから。	(理由) わからないことが多いから。 内容がおもしろくないから。 難しいから。

②外国語活動の時間の中で、好きな活動は何ですか。あてはまるものに丸をします。

ゲームをする	19名
外国のことについて知る<映像などを見る>	7名
英語の単語や文を書く	5名
文字や単語を読む	3名
会話や発表の練習をする	3名
英語の会話を聞く	3名
ない	3名

③外国語活動で大変な点は何ですか？

言ってることを聞き取ること	13名
自分の思っていることを伝えること	13名
間違えずにきちんと話すこと	12名
単語や表現を覚えること	11名
特にない	3名

④外国の人と仲良くなるためにどうすればよいと思いますか。

その国の言葉を学ぶ	12名
外国の文化について知る努力をし、少しずつ取り入れる	9名
積極的に遊びやイベントなどの交流をする	9名
互いの国のよいところを伝え合う	8名
積極的にその国の言葉でコミュニケーションをとる	7名

⑤外国にほこれる千葉や稲毛海岸近辺のよさを言えますか。

はい	9名
いいえ	13名

「はい」の人はどんなことがよさか教えてください。

海浜幕張でよくイベントをする。

浅間神社の祭りが楽しい。

海がある。海が近い。

海でカニを探すのが楽しい。

ウィンドサーフィンができる。

マリンピアがある。

近くに食べ物屋さんが多い。

プールが近い。

ピーナッツが有名。

TDLがある。

富士山が見える。

⑥文字について聞きます。

大文字のA～Zを読めますか？	はい	22名	いいえ	2名
大文字のA～Zを書けますか？	はい	21名	いいえ	3名
小文字のa～zを読めますか？	はい	17名	いいえ	5名
小文字のa～zを書けますか？	はい	15名	いいえ	7名

(2) 考察

本学級の児童は、外国語活動の学習に積極的に取り組む児童と消極的な児童と二極化している。②のアンケート結果から苦手としている児童も、学習の中で好きな活動はゲームと答えている。しかし、ゲームも内容やルールが分かれば楽しむが、ルールが理解できないと拒否反応を示す。児童にゲームなどを通して、たくさん話す、聞くことを目的とするため、ルールの説明は児童が理解しやすいよう日本語で行うようにしている。

また、③のアンケートから、半数以上の児童が「思いを伝えること」を外国語活動の難しい点として挙げている。そこで本単元では、児童が自分で調べ、見つけた地域のよさ、美浜区のよさを日本語でまずまとめさせる。調べたことを学習した英語の文章にあてはめ、相手に自分の話したい内容が伝わることを味わうことで、英語でコミュニケーションをとる楽しさを感じ、外国語活動により積極的に取り組むことを期待する。

5 研究主題との関連

千葉市教育研究会 国際理解教育部会 研究主題
心の国際化から、共に生きる社会へ
～国際性豊かな児童生徒の育成を目指して～

本部会の研究課題の1つである「言語や文化に対する理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする児童生徒を育成するための外国語活動・外国語科の指導法」の解明の方策として、本年度は「先行実施をふまえた外国語活動・外国語の実践的・具体的な手立てを研究していく」が挙げられている。そこで、本単元では、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」に焦点をあて、国際理解教育と関連付けた外国語活動を展開する。国際理解教育には、自国文化の理解と異文化の理解の2つがある。今回は自国、特に自分たちが住む地域の理解を深め、さらにそれを外国語で伝えることを目標とする。

本単元の前半では、最後に地域や千葉市を紹介する場面があると見通しを持たせながら、日本語と英語の表現、語順の違いを押さえていく。場所やイベントは **We have**～、景色や祭りは **You can see**～、スポーツをプレーするなら **You can play**～、何かを楽しむこと **You can enjoy**～などの表現を紹介し、言葉を変えながら表現に慣れ親しませていきたい。

本単元の後半には、雛形のあるワークシートを用意し、話すだけでなく、書くことも行っていく。地域を紹介する英語のポスターを作り、発表会を行う。

本時では、英語で伝える楽しさを知るために、参観してくださる先生方を外国人に見立て、地域や千葉市のよいところを伝えていく。先生方が、児童が行う説明をリポートするなどリアクションを見せることで、自分が伝えたいことが伝わる気持ちよさを味わわせたい。また、**How about you?**という表現を使うことで、外国人役の先生方からその国の情報を引き出せることを体験させたい。

6 単元の評価規準

- ・進んで、地域の有名な物や場所について伝え合おうとしている。

〔コミュニケーションへの関心・意欲・態度〕

- ・地域にどのような施設や見どころがあるのか、さらに地域のよさを表す表現に慣れ親しむ。また、例を参考に、語順を意識しながらそれらの表現で書くことに慣れ親しんでいる。

〔外国語への慣れ親しみ〕

- ・英語と日本語とでは、地域の有名なものや場所などの表現が違うことに気付く。また、日本語と英語の語順の違いに気付いている。

〔言語や文化に関する気付き〕

7 単元の指導計画

	○目標と主な活動 ☆使う表現	評 価			
		コ	慣	気	評価規準<方法>
1	○施設名を表す語句に慣れ親しみ、自分の街の紹介について分かる。 ☆ We have /don't have (a park).			○	・地域にあるもの、ないものについて聞き、番号を記入している。 <行動観察、テキスト>
2	○地域にはどのような施設があるか、ないかについてやり取りする。 ☆ Do you have~~? We have /don't have (a park). I want a [library/ park].	○			・地域にはどのような施設があるか、ないかについて聞いたり言ったりしている。 <行動観察、振り返りカード>
3	○自分の住んでいる地域、千葉市のよさについて、理由を付けて言ったり、聞いたりする。 ☆ (Sakura) is nice. You can play~			○	・地域のよさについて、理由を付けて話す英語を聞いて、内容に合うよう表を完成させている。 <行動観察、振り返りカード>
4	○地域の施設で何ができるかを言ったり、聞いたりする。 ☆ You can (see many flowers).	○			・地域に施設のよさについて伝え合っている。 <行動観察・振り返りカード>
5	○地域について話される英語を聞いて、その内容とそれについての意見が分かる。 ☆ You can enjoy [fishing/ shopping/swimming]. ☆ It's nice/ good / exciting/ beautiful			○	・地域について書かれている英文を推測しながら読んでいる。 <行動観察・振り返りカード>
6 (本時)	○千葉市、千葉県の観光名所や有名なものについての表し方を知り、おすすめの場所や有名なものを紹介し合う。 ☆ How about you?	○			・表したいものを選び、外国人役の先生に伝えたり、相手の国について聞いたりする。 <記述観察、行動観察>
7	○語順の違いに気を付けて、紹介したいものをポスターに書く。			○	・読み手に伝わるように読みやすい字で、単語と単語の間にスペースを適切に空けて書いている。 <記述観察>
8	○全体の前でプレゼンをする。	○			・聞き手に伝わるようにはっきりした声で発表する。<行動観察>

8 本単元で使う表現・語彙

(1) 表現

We have /don't have (a park). **We can (see many flowers).** **We can enjoy [fishing/**

shopping/swimming].

I want a [library/ park]. (Sakura) is nice.

既習 I live, I like

(2) 語彙

施設と建物(amusement park, aquarium, swimming pool, baseball stadium, roller coaster, Ferris wheel),
動作(fishing, dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, walking)

既習 festival, fireworks

9 本時の指導

(1) 本時の目標

・進んで、地域や千葉市のよさを伝え合おうとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 展開

過程	学習内容と児童の活動	○指導者の支援と留意点 ◆評価	教材 教具等
挨拶 (2)	○挨拶をする。 ・朝と昼では、挨拶の言い方に違いがあることを知る。 ・天気や日付について答える。 Hello. Good afternoon. I'm happy/sleepy/good. It's sunny/cloudy/rainy. It's October 21th.	○朝の挨拶とは違う言い方であることを児童に気付かせるようにする。 Hello. Good afternoon. How are you? How's the weather? What's the date?	
復習1 (4)	○絵カードで本時に使う語彙を復習する。	○大きな声ではっきり言うように助言する。	フラッシュカード
復習2 (6)	○ブリッジゲームで We have ～～の表現を復習する。	○ルールを確認する。2人の間にある場所のカードを並べ、端から We have ～～と唱えていき、ぶつかったらじゃんけんをして、負けたら最初のカードから言い直す。	絵カード
展開1 (10)	○ Today's Goal を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">『千葉市に訪れた外国人に地域のよさを伝えよう』</div>	○めあての確認をする。	
	○紹介の仕方の文例を復習する。 We have (場所・イベント) You can see (景色・祭り) You can play (スポーツ) You can enjoy (行動) It's nice/ good / exciting/ beautiful How about you? (児童から出るだろう言葉) 海がある。駅がある。	○雛形のあるワークシートを配付し、単語によって、表現が変わることを確認する。	写真カードや絵カード

	<p>大きなスーパーがある。 ウィンドサーフィンができる。 野球ができる。 サッカーができる。 野球観戦ができる。 アイススケートができる。 富士山が見える。</p>		
展開2 (10)	<p>○PRゲームの方法を知る。 デモンストレーションを見て、活動の進め方を知る。 参観の先生方が千葉市に訪れた外国人役となり、おすすめの場所を尋ねてくるので、ワークシートに書いておいた地域のPRをする。</p> <p>T: Hello. Do you know the good place? S: Yes, Inagekaigan is nice. We have marine stadium. You can watch a baseball game. T: baseball game? S: It's exciting. How about you? (外国人役の先生が写真を使って自国の紹介をする) S: Thank you, sign please. (サインをもらう) T: Thank you, bye.</p>	<p>○外国人役の参観の先生方が復唱することで、伝わったという自信をもたせる。 ○資料の写真やイラストも相手に見せながら紹介するように声をかける。 ○外国人役の先生には、あらかじめ用意した4か国(ブラジル、イタリア、中国、USA)のうち、1つの国を紹介してもらおう。児童が理解しやすいように、写真を用いて説明する。 ○自信のない児童には、外国人役の先生と一緒にワークシートを読む。 ○外国人役の先生からサインをもらうことで意欲をもたせる。 ◆進んで、地域や千葉市のよさを伝え合おうとしたか。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p>	
まとめ (3)	○振り返りカードに、自分の取組について記入する。	○進んで取り組んでいた児童の姿を紹介する。	
挨拶	挨拶をする。		